

令和7年9月8日(月)



来週は、17日から20日にかけて、入間東部の新人大会が行われます。1・2年生にとっては、夏の暑い間に汗を流して練習してきた成果を発揮するときです。朝練習も始まり、いつもより早く登校してくるようになりました。残暑の厳しさは依然続いており、疲れもありますし、心が折れそうになるときもあるでしょう。それは、他校の生徒も同じです。健康に留意しながらも、心の炎は熱く燃やして試合に臨んでほしいと思います。



3年生の数学は、二次方程式の授業でした。生徒たちは、真剣に練習問題に取り組んでいます。数学科では、授業形態の一つとして生徒同士による教え合いを取り入れています。早く問題が解けた生徒は、ミニ先生になって他の生徒の回答に丸付けしたり、手こずっている生徒に助言を与えたりしています。先生と同じことを生徒が助言していても、なぜか生徒同士の方が理解できる場合もあり、また、生徒同士の方が気軽に質問しやすいようで、学力定着に一定の効果が見られます。



そんな生徒同士のやりとりを微笑ましく眺めていたら、ある生徒が、「校長先生って、数学の問題を解けるんですか？」と質問してきました。「私は算数数学の先生なんですよ。」と答えると、すかさず横から別の生徒がやってきて、「知らなかったの？ 校長先生はこの前フェルマーの定理のことを話していたじゃないか。」と、質問した級友に伝えていました。私の講話をきちんと覚えていてくれたことに、ちょっと感動してしまいました。

放課後は、教職員の校内研修でした。内容は、救急救命法です。学校では、毎年全教職員が受ける研修です。心肺蘇生法とAEDの操作を中心に実践的な研修を行いました。

平成23年9月29日、さいたま市立小学校6年生の桐田明日香さんが、駅伝の課外練習中に倒れ救急搬送された後、翌30日に死亡するという大変悲しい事故が起きました。「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」は、この事故を教訓とした、教員研修等のためのテキストです。本日の研修も、このASUKAモデルの基づいた内容でした。体育でなくとも、また生徒や教職員に関わらず、いつなんどき人命に関わる事故に遭遇するかわかりません。いざというとき、勇気をもって迷いなく人命救助を行える心構えとスキルを身に付けておくことが大切なのです。

